

公表:令和3年 3月 25日

事業所名 児童デイサービス ジャンプレッツ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			当事業所の居室は約85㎡あります。国の設備基準である児童一人当たり4㎡以上、集団活動が行えるよう死角のない指導員の目が届く一つの空間で40㎡以上(放デイ)の広さという基準以上の広さの活動場所です。活動に合わせて適切に使用しています。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			国の定めている配置基準に加えて加配職員も配置しています。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			建物にはエレベーターがあり、階段には手すりを設置しています。玄関は段差がなく、車椅子を使っている方もスムーズに出入りできます。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の業務の中でPDCAサイクルを意識した振り返りを行い、改善点を挙げ、仮説を立てて実行し、再度振り返りを行っています。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価表を活用し、保護者の意向などを把握に努めております。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当法人のホームページにて公開しています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			第三者によるコンサルティングを受け、研修を受けることで、業務改善に繋げています。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			スタッフの年数や役割別の内部研修や、外部の研修に参加しています。アドバイザーを迎えスーパーバイズを受けています。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人の行動観察や、保護者との定期的な面談を通してニーズを把握し、アセスメントを適切に行い、支援計画を作成しています。必要に応じて、医療機関等で検査を行い、発達状況の把握に役立てます。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			CSPのアセスメントツールを使用し、アセスメントを行っています。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			クラス会議やSVの中で、子どもの状況を共有して、より良い活動の立案をしています。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一つの活動を通して、子ども個々に合わせた課題を設定し、内容を変化させています。また、行事としてお正月会、豆まきなどの季節の行事などを活動に取り入れる工夫をしています。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校休業日は、普段に比べ長くなった利用時間を有効に活用するため、子ども達それぞれに求める課題を設定し、こまやかな支援を行っています。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動の中にも個別的な活動・課題を設定することで、サービス計画を作成しています。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前に、必ず一日の流れと役割分担、個々の課題を確認してから療育を行っています。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			各スタッフと一日の振り返りを行い、良かった点・改善点をPDCAサイクルを意識した、次に繋がるように共有しています。		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の支援に対しての記録を正しく行い、支援の結果や課題点を確認し、改善に努めています。		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月以内にモニタリングを行い、支援計画の見直しをしています。		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			活動の中で、CSPをベースとした認める・褒める療育の中で、自己肯定感を高めたり、職員と一緒に挑戦し成功体験を積むこと、集団の中で自己主張・自己選択をする場面を設定した支援を行っています。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			会議開催の際は、児童発達支援管理責任者等、子どもや家族の状況を理解したふさわしい者が出席しています。		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要時には学校とも連絡調整を適宜行っています。家族背景などを共有する際には、保護者の同意を得てから共有しています。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				同法人内の児童発達支援事業所、児童発達支援センターを卒業した利用者は、情報共有がなされています。その他の利用者の場合は、必要時に情報共有を行います。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか						
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				児童発達支援センター等の専門機関と連携し、研修を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○			公園活動などで地域の子ともと交流することがあります。	コロナ禍でバザー等は開催できませんでしたが、地域と交流する機会を計画していきたいと考えています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○				(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				活動の様子や家庭での様子を相互に伝えることで情報を共有し、共通理解を持つよう努めています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				保護者に対して、毎月のコミュニケーション・トレーニングのペアレント・トレーニングとトレーニング、グループカウンセリングを行っています。	

保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		運営規定・重要事項等については、契約時に説明しています。また、それらが変更になった場合もその都度説明しています。支援内容については、支援計画内でお伝えし、保護者への日々の様子を伝えるようにしています。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子どもの利用時間、帰宅後についても保護者からの連絡には応じる仕組みがあります。相談には傾聴し、必要な助言・支援をおこなっています。また、必要時には、面談の時間を設定し個別の話ができる時間を設けています。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		父母の会の活動を支援し、保護者同士が連携できるよう努めています。	
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、速やかに対応するよう努めています。	
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		クラス便り等で、活動概要や行事予定等を、子どもや保護者に対して発信しています。	
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○		鍵付きの書庫に個人情報を保管しています。	
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもや保護者との意思疎通・情報伝達の配慮を行っています。	
非常時等の対応	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	散歩等で地域の方に挨拶するなどを行なっています。	コロナ感染対策で積極的に行っていませんがコロナ感染状況をみながら計画を検討します。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		法人内共通で各種マニュアルを策定し、職員・保護者に周知しています。	
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に一回、水害・地震・火災避難訓練を計画し、実行しています。	
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内に虐待防止委員会を立て、虐待を防止するためにアンガーマネジメント研修に参加しています。	
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別支援計画に記載し、保護者に説明・同意を得ています。	
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の診断書に基づく対応を行っています。	
	㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		法人全体でヒヤリハット事例を共有し、安全に配慮するよう努めています。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。